

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	新宮市立 王子ヶ浜小学校	谷口幸生
学校所在地		
(〒 647 - 0031) 和歌山県新宮市田鶴原町2丁目10番1号 Tel 0735 (22) 8431 fax 0735 (22) 8432		
担当者名		役職名・担当教科
速水直也		教諭・5年担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、蓬萊小学校と王子小学校が統合され、平成25年に創立された。現在、全校児童は323名の学校である。校区は、蓬萊、王子地区を始め、全部で22地区に大別される。校区には、徐福公園、阿須賀神社、丹鶴城跡地などがあり、歴史と深い関わりのある地域となっている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5年生 66名	0名 職員 3名	和歌山県世界遺産センター・5年教室
実践研究テーマ		
世界遺産についての知識を深め、郷土を愛する心を育てる		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう	
<p>〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土学習</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>(1) 熊野参詣道を実際に歩くことで、地域にある文化遺産の素晴らしさを体感する。 (2) 資料や自分の体験などを生かして、自分の伝えたい事柄を効果的に表現しようとする。 (3) 郷土にある文化遺産を守り引き継いでいくために自分にできることを考えようとする。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 10 時間 （「 世界遺産について調べよう 」 10 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>和歌山県世界遺産センター …… 次世代育成事業（世界遺産講座、現地学習） 世界遺産マスター …… 次世代育成事業（現地学習） 和歌山県商工観光労働部観光局観光振興課 …… 10万人の参詣道環境保全活動</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産とは何かを知る。 世界遺産について知っていることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について興味を持てるようにする。 	発言 ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> 世界に登録されている世界遺産を知る。 日本に登録されている世界遺産を知る。 世界遺産について知りたいことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界には様々な世界遺産があることに気づかせる。 世界遺産について自分知りたいと思うことを明確にもたせる。 	ワークシート
3	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産講座を受講する。 熊野参詣道について話をききながら実際に参詣道を歩く。 	<ul style="list-style-type: none"> 道の保全活動に参加することで、世界遺産を守り残していくことの大変さや大切さに気づかせる。 	発言 行動観察 振り返りシート
4	<ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について詳しく調べる。 調べたことを整理しまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの興味関心に応じて多様な調べ方を行わせる。 世界遺産についての思いや願いが伝わる様表現を工夫させる。 	作文
5	<ul style="list-style-type: none"> まとめたことを発表し合う。 感想を交流する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の世界遺産についての知識や愛着が深まっていくようにする。 世界遺産を守り次世代に伝えていくために自分たちにできることを考えさせる。 	発表 発言
〔单元学習の成果と課題〕			
(成果) 現地学習を取り入れることで、地域の文化遺産への関心を深めることができた。 (課題) 文化遺産を守ることの大切さについて考えさせるために、様々な保全活動に携わっている人々の思いなどについても触れられるとよいと思った。			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> 参詣道を実際に歩くことで、身近にある文化遺産の素晴らしさに触れられたと思う。このような体験を通して自分たちの住む地域に誇りを持つことができると思う。 歩いている最中に他の参拝者たちを見かけた。地域にある文化遺産が様々な人々に注目されているという実感をもつことができたと思う。 保全活動に参加したことは児童にとってよい体験となった。参詣道を歩いている人たちから「ありがとう」と声をかけてもらったこともまた特別な経験であったと思う。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> 今回は、体験したことや調べてまとめたものを授業参観の際に保護者の方々に伝えるという形で行った。今後は、さらに、地域に向けて発信する機会などが設けられればよいと思った。 地域の文化遺産を守るためにできることを考えるという話し合いを深めるためには、参詣道に対する興味関心をもっと深めさせるような指導の工夫が必要だと感じた。 			

様式 2

令和4年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

- ・紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産に登録されたのが2004年7月だということを知りました。
- ・日本の世界遺産の数や大辺路についてもよく分かった。
- ・大斎原を調べて、1889年の大水害で水につかって現在の場所へ移されたってことを知りました。
- ・神倉神社を調べているときに、地域の世界遺産の大切さを知りました。これからも世界遺産を大切に守ってほしいと思いました。

道普請のことを調べて発表して、世界遺産のことや色々知らなかったことを知ってよかったな〜と思った。

